2026年度 第13号 松戸保健所感染症情報

発行日： 2026 年 10 月 2 日（金）
発行：松戸保健所（松戸健康福祉センター）疾病対策課
2026 年第 38 週 2026 年 9 月 14 日 ～ 9 月 20 日
2026 年第 39 週 2026 年 9 月 21 日 ～ 9 月 27 日

保健所からのお知らせ

千葉県では2026年第38週（9月14日から9月20日）におけるインフルエンザ定点当たり患者報告数が14.36人となり、国が定める注意報基準値（10）を超えたため、インフルエンザの予防対策を更に徹底いただくことを目的に、「インフルエンザ注意報」を発令しました（令和８年９月２５日）。

全数把握対象疾患

松戸保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。
全数報告集計表については、別添をご覧ください。

		2026年第38週～第39週	累計（2026年第1週～2026年第39週）
2類感染症	結核	3	82
4類感染症	レジオネラ症	1	20
5類感染症	急性脳炎	1	21
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1
	梅毒	3	32

定点把握対象疾患

上段：報告数
下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値）

小児科定点

疾病名	前週比	第39週	第38週
RSウイルス感染症	↓	9 0.82	11 1
咽頭結膜熱	→	- -	- -
A群溶血性レンサ球菌感染症	↓	13 1.18	32 2.91
感染性胃腸炎	↓	42 3.82	76 6.91
水痘	↑	4 0.36	2 0.18
手足口病	↓	17 1.55	27 2.45
伝染性紅斑	↓	- -	1 0.09
突発性発疹	↑	3 0.27	- -
ヘルパンギーナ	↑	19 1.73	7 0.64

数値は報告の追加、取り下げ等により、今後変動することがあります。

前週比： ↓減少 →横ばい ↑増加

急性呼吸器感染症

疾病名	前週比	第39週	第38週
インフルエンザ	↑	414 20.7	388 20.42
新型コロナウイルス感染症	↓	56 2.8	73 3.84
急性呼吸器感染症（ARI）	↓	1736 86.8	2504 131.79

眼科

疾病名	前週比	第39週	第38週
急性出血性結膜炎	→	- -	- -
流行性角結膜炎	→	- -	- -

※急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか１つ以上の症状を呈し、
発症から１０日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

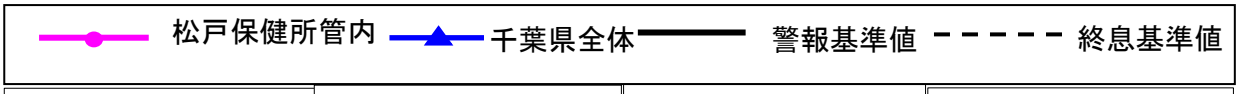
【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】

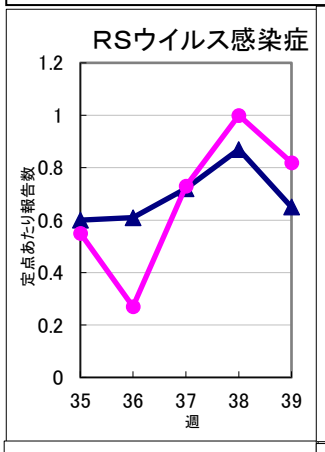
活動性結核（①～④）	
①喀痰塗抹陽性	2
②その他の結核菌陽性	0
③菌陰性その他	0
④活動性肺外結核	3
無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）	4

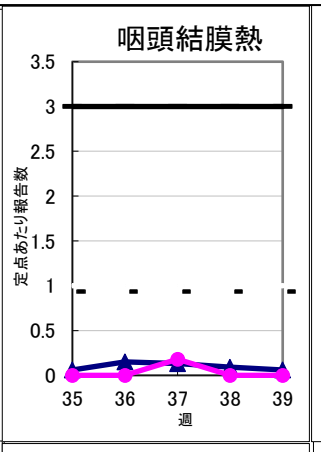
【集団感染発生状況】

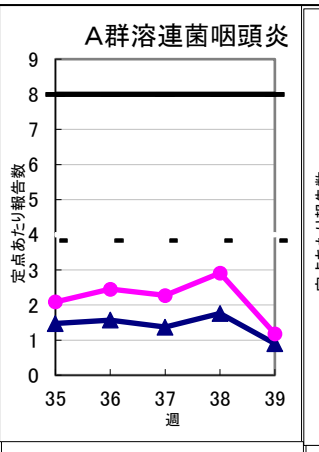
疾患名	報告数
インフルエンザA型	3 件（保育施設）
手足口病	1 件（保育施設）
原因不明熱	1 件（保育施設）

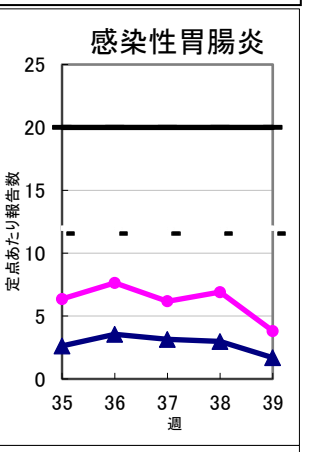
松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

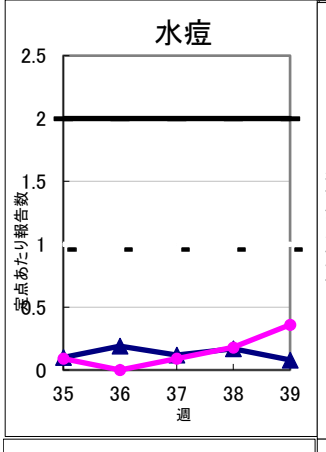


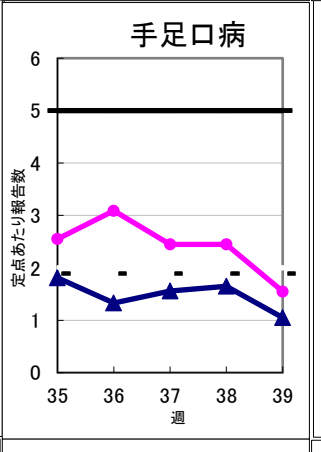


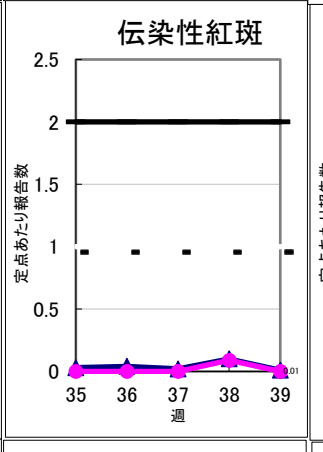


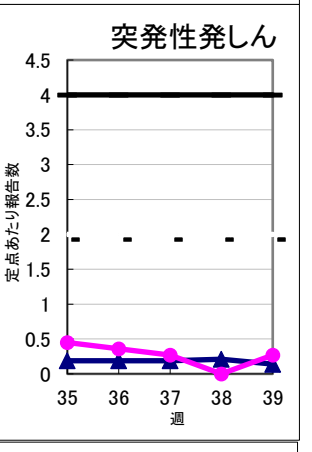


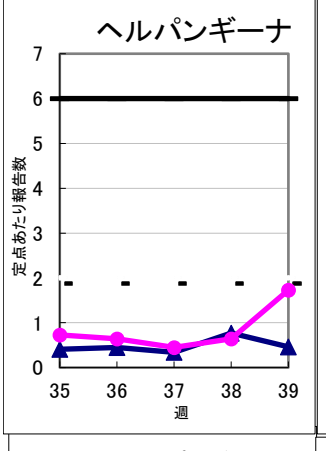


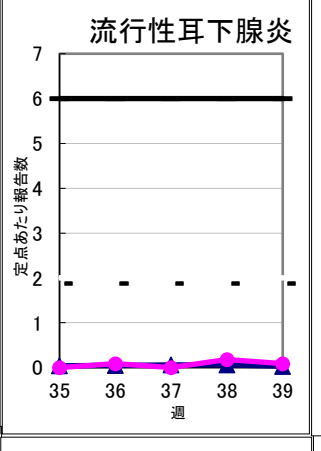


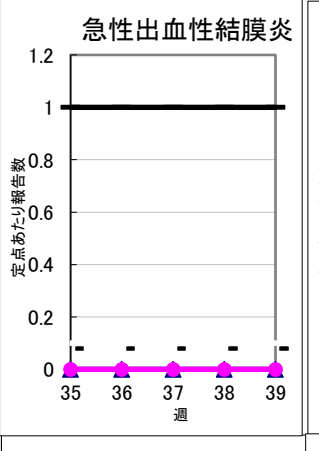


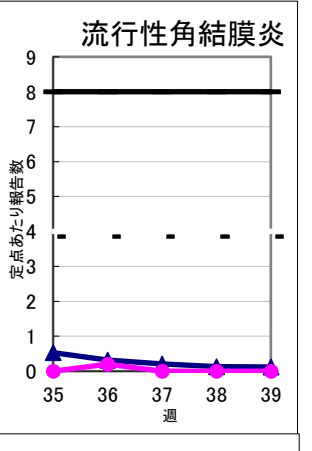


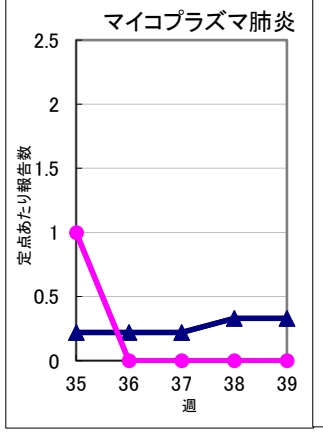


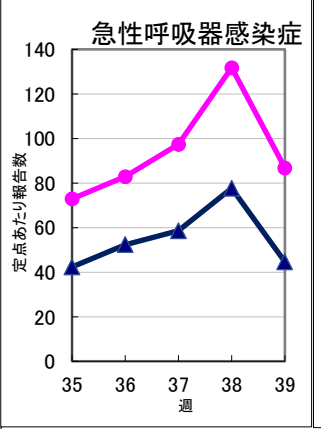


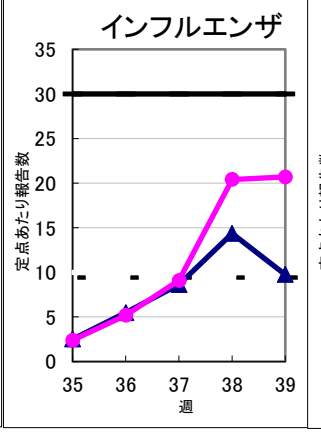


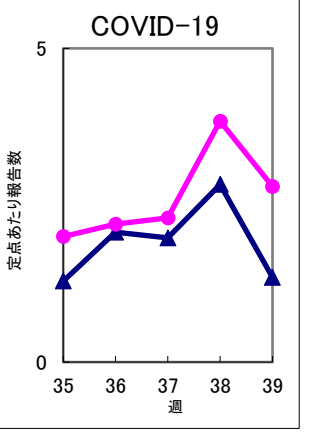












松戸保健所感染症情報

2026年度 第13号

インフルエンザ注意報の発令について（令和８年９月２５日）

注意喚起

令和8年9月25日に、千葉県では2026年第38週（9月14日から9月20日）におけるインフルエンザ定点当たり患者報告数が14.36人となり、国が定める注意報基準値（10）を超えたため（図１）、インフルエンザの予防対策を更に徹底いただくことを目的に、「インフルエンザ注意報」を発令しました。

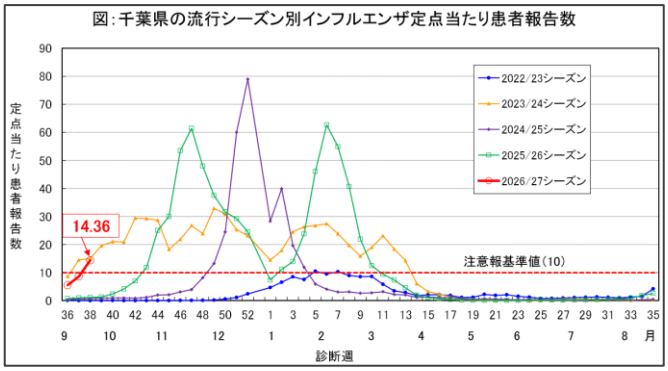


図 1 ：インフルエンザ注意報の発令について（令和８年9月25日）
出典 ： インフルエンザ注意報の発令について（令和8年9月25日）／千葉県

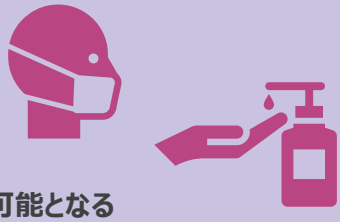
感染症について

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身状態が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することがあります。
体力のない高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。

以下のチェックリストを参考に、インフルエンザの予防対策に努めましょう！

- こまめな手洗い
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 室内ではこまめに換気する
- 人混みや繁華街への外出を控える
- マスク着用を含むせきエチケット
- 適度な湿度の保持
- ワクチン接種※

※ワクチンは例年10月頃から接種可能となる



麻しん（はしか）について

発生動向

2026 年第 39 週に千葉県内医療機関から 1 例の麻しんの届出があり、2026 年の累計は 33 例となりました（図２）。
全国では、2026年第 37 週に 6 例の届出があり、2026 年の累計は 558 例となりました。
千葉県では第 23 週以来、16 週ぶりの届出であり、今後の発生動向に注意が必要です。

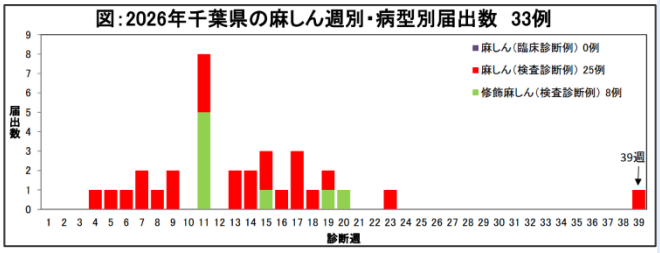


図 2千葉県結核・感染症週報 2026 年第 39 週
出典 ： wr2639.pdf

感染症について

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染力が非常に強い感染症であり、免疫を有していない人が感染すると、ほぼ１００％発症すると言われています。

母子手帳などで予防接種歴を確認 → ・定期予防接種を２回受けていない ・予防接種歴が不明 → かかりつけ医などに相談し、予防接種を検討しましょう



２回の予防接種をすると、、、

- **発症予防**
  免疫ができ、ウイルスを早期に抑えこむことで、発症を防げる
- **重症化予防**
  麻しんに罹患しても、症状が軽く、発熱などの症状の強さ、肺炎や脳炎などの重い合併症のリスクを下げられる

参考文献
（1）インフルエンザ注意報の発令について（令和８年９月25日）
インフルエンザ注意報の発令について（令和8年9月25日）／千葉県
（2）千葉県結核・感染症週報 2026年第39週
wr2639.pdf
（3）麻しん（はしか）
麻しん（はしか）｜厚生労働省